


# ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報						
組織名・所属		株式会社 地域計画建築研究所(アルパック)				
役職		役員 大阪事務所副所長 部長(サステナビリティマネジメント)				
氏名		畑中 直樹	ふりがな	はたなか なおき	生年	1964年 9月
連絡先	住所	〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7 日本生命今橋ビル10F				
	電話	06-6205-3600	携帯電話		メールアドレス	<a href="mailto:hata-nk@arpak.co.jp">hata-nk@arpak.co.jp</a>
2. 経歴・取組内容、取組分野等						
主な経歴・受賞歴	<p>博士(環境科学)、認定都市プランナー(環境・エネルギー/低炭素対策)                      大阪大学工学部環境工学科卒業、(株)地域計画建築研究所(アルパック)入所(1988)                      大阪大学大学院工学研究科招聘教員(環境・エネルギー工学専攻)(2019～)                      和歌山大学システム工学部非常勤講師「環境経済・環境政策」(2011～2017)                      (財)地球環境戦略研究機関(IGES)関西研究センター 客員研究員(2004～2006)                      ひょうご持続可能地域づくり機構(HsO)、一般社団法人 ひょうご持続可能地域づくり研究所(HsI) 代表理事(2015～)                      中国四国気候変動適応広域支援センター 副センター長                      湖東地域材循環システム協議会/一般社団法人kikito 監事(2010～) ※平成27年度ふるさとづくり大賞総務大臣賞受賞                      特定非営利活動法人 森と地域・ゼロエミッションサポート倶楽部 理事(2006～)                      特定非営利活動法人 上山高原エコミュージアム アドバイザー(2003～) ※平成26年度環境大臣表彰「自然環境保全活動部門」受賞                      特定非営利活動法人 北はりま田園空間博物館 理事会オブザーバー・正会員(2002～) ※平成17年度第3回オーライ!ニッポン大賞受賞                      兵庫県都市木造建築支援(旧CI T建築実証)協議会 事務局長(2017～)</p>					
	<p>真庭市地域再生マネージャー(2019～)                      吹田市公共施設等への能勢町産等木材利用推進会議 副委員長(2019～)                      東条川疏水ネットワーク博物館会議アドバイザー(2018～)                      兵庫県立森林大学校非常勤講師(里山資源利用論)(2017～)                      中国四国地方環境事務所「bikebiz(自転車利用)の推進方策に関する意見交換会」委員(2016～)                      高山市自然エネルギーによるまちづくり検討委員会委員(2017～)                      京丹後市美しいふるさとづくり(環境)審議会委員(2016～)                      ひょうご持続可能地域づくり実践者育成講座(ひょうごSDGs未来事業塾(2019～))(2015～)                      滋賀県農村振興交付金制度審議会委員(2013～)                      大阪さとり地域協議会(林野庁森林・山村多面的機能発揮事業)委員(2013～)                      近畿経済産業局スマートコミュニティ形成次世代ビジネスモデル研究会座長(2012)                      京丹後市再生可能エネルギー事業化検討委員会委員(アドバイザー)(2012～)                      新温泉町エココンパクトタウン推進委員会アドバイザー(2012～)                      川西中央北エコまち協議会委員(2012～)                      京都府精華町環境推進委員会(審議会)委員(2011～)                      けいはんな学術研究都市推進機構アドバイザー(2010)                      京都府けいはんなエコシティ推進プラン検討委員会委員(2009～2011)                      びわこの森ローカルシステム専門委員会委員(2008～)*CO2森林吸収・木材利用固定認証</p>					
取組分野	○	1	観光振興	◎	7	住民参加・協働
	○	2	産業振興		8	イベント交流
	○	3	過疎地域・限界集落の振興		9	食品流通
		4	中心市街地活性化	◎	10	環境
	○	5	まちづくり景観	○	11	NPO・ボランティア
	○	6	農林水産品の開発・ブランド化	◎	12	その他(起業支援、人材育成)
3. 関連ホームページ						
名称		アドレス				
株式会社 地域計画建築研究所(アルパック)		<a href="http://www.arpak.co.jp">http://www.arpak.co.jp</a>				
ひょうご持続可能地域づくり機構(HsO)		<a href="http://hso-t.com/">http://hso-t.com/</a>				
湖東地域材循環システム協議会・(一社)kikito		<a href="http://www.kikito.jp">http://www.kikito.jp</a>				
(特)上山高原エコミュージアム		<a href="http://www.ueyamakogen-eco.net/">http://www.ueyamakogen-eco.net/</a>				

4. ふるさと財団での実績	
外 部 用 専 門 成 家	
外 部 専 門 診 断 家 派 遣	
地 域 セ ミ ナ ー 再 生	
そ の ほ か	

5. 財団報告書	
名称	アドレス

6. 写真・ひとことPR	
	<p>&lt;ひとことPR&gt;</p> <p>既にその影響が顕在化しつつある気候変動に対し今世紀後半にCO2等を実質排出ゼロとするパリ協定、SDGs、地域循環共生圏など、あらゆるレベルで持続可能性（サステナビリティ）を考慮ことが不可欠となっています。</p> <p>この持続可能性は、社会全体のエネルギーやマテリアルの脱炭素への転換と、地域社会の人・もの・カネの地域内循環とを、いかにうまく結び付けながら適正なものにしていくかがキーとなります。</p> <p>こうした中で、地域の様々な資源、人、歴史あらゆるものを、誰ひとり取り残さない(Leave No One Behind)  ようほどよく紡いで、ふるさとの地域を持続可能なものにしていければと考えています。</p>